

京都府漁海況情報

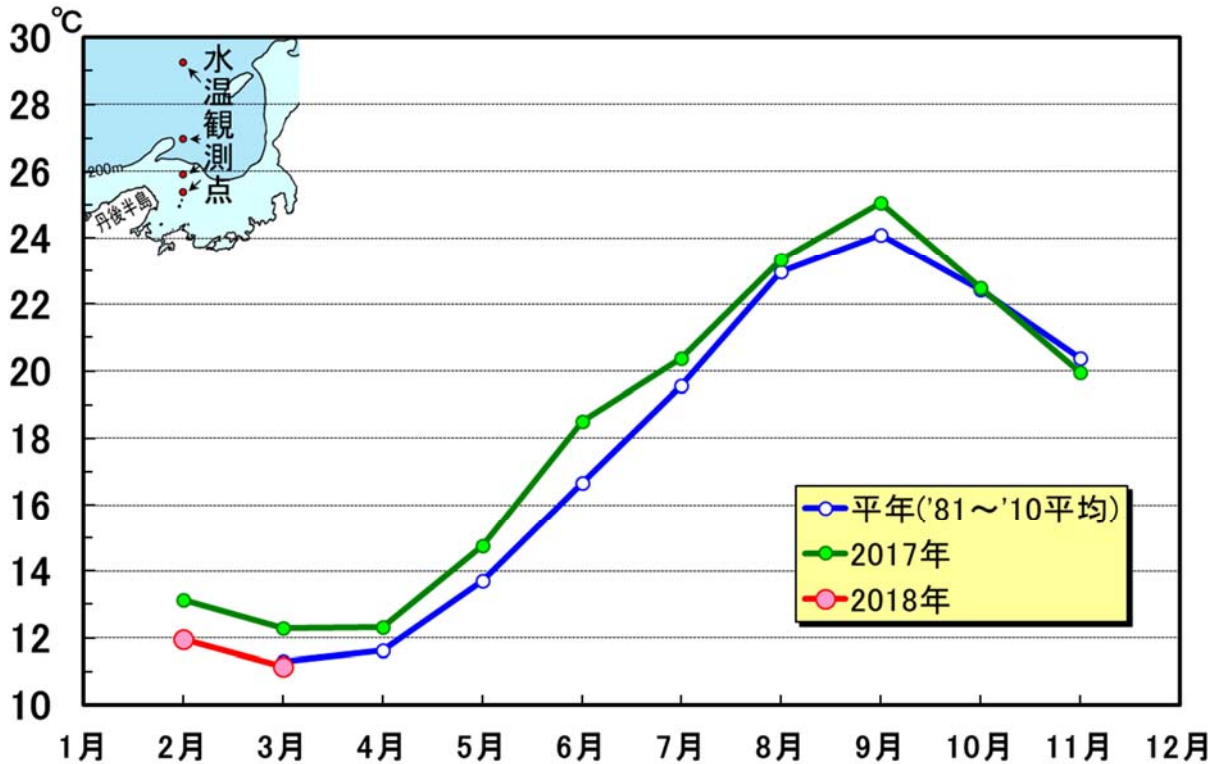
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

平成 30 年 2~3 月における京都府周辺の表層水温は、「平年並み」で推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	1月	2月	3月
京都沖の表層水温	(観測なし)	12.0 °C	11.1 °C
前年比	-	-1.2 °C	-1.2 °C
平年比	-	-0.3 °C (10年平均比)	-0.2 °C (平年並み)

1~3月の天気まとめ

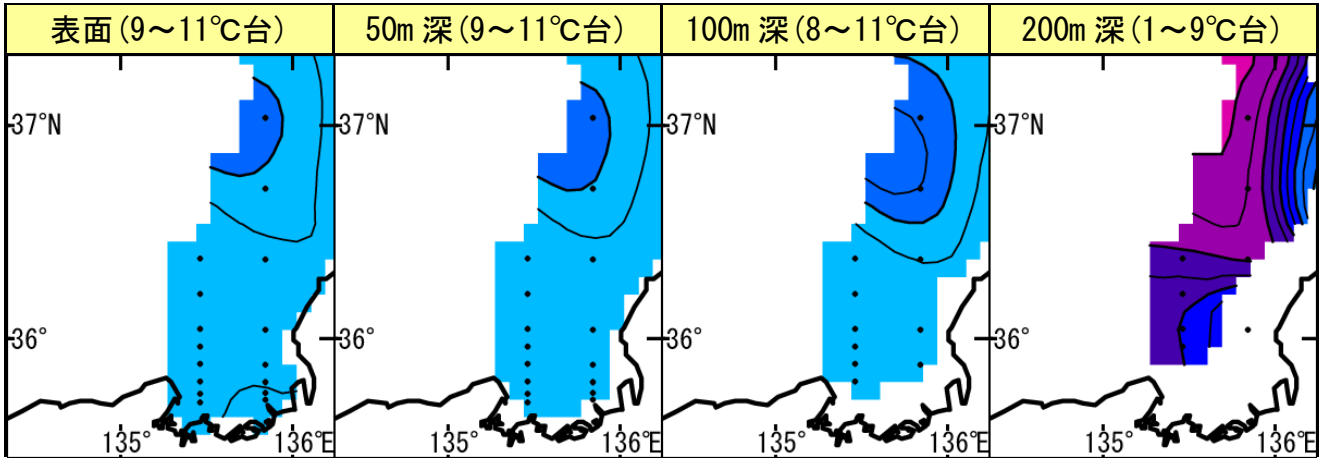
京都北部周辺の平均気温	平年並であった。
京都北部周辺の降水量	平年より少なかった。

資料元：気象庁

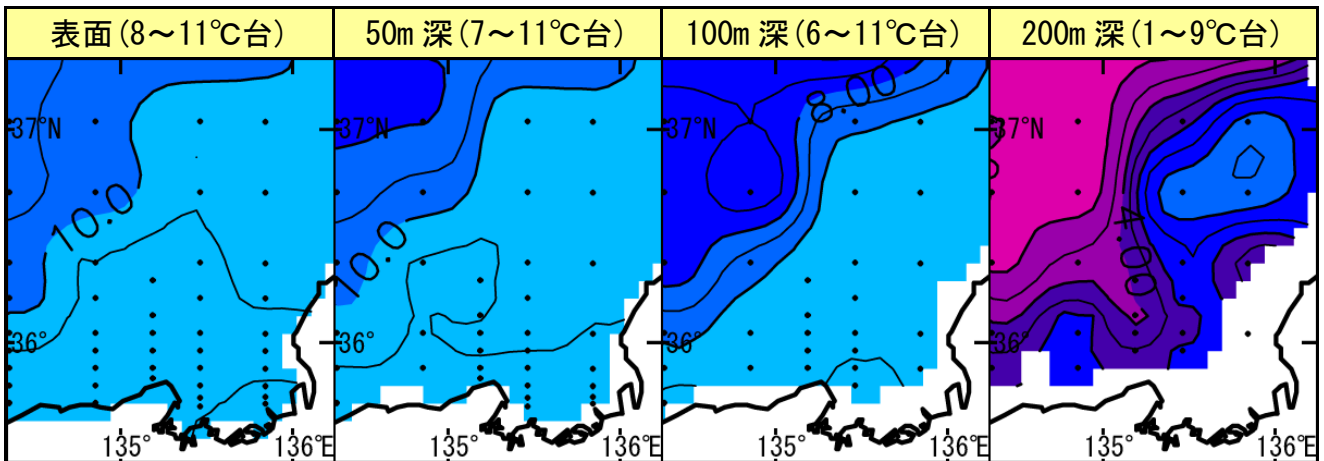
京都府周辺の各層水温(2018年2~3月)

2月上旬

資料元：日本海区水産研究所



3月上旬



【今後の見込み】

資料元：気象庁

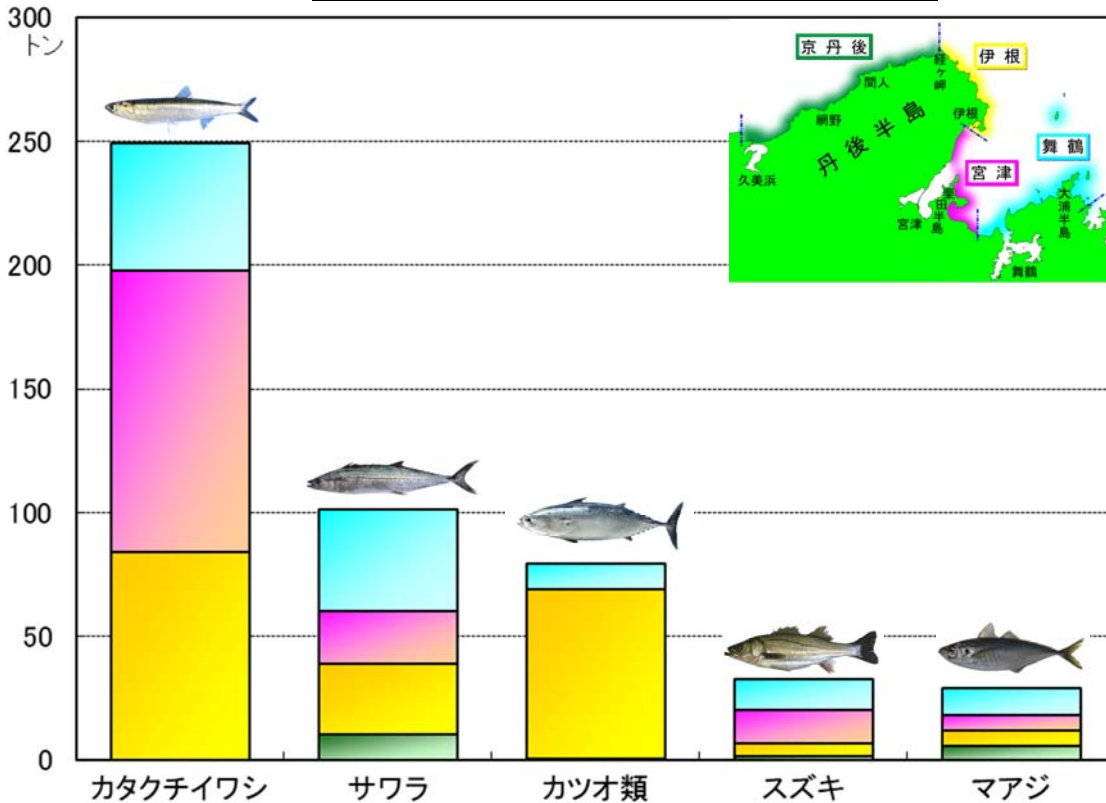
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」か「平年より弱い」で推移する見込み

漁模様 2017年12月～2018年2月

《定置網漁業》【12月】

スズキが平年の1.6倍（1.3倍）と好調でした。一方、サワラが平年の5割強（前年の4割弱）、マアジが平年の4割弱（前年の6割弱）、ブリ類が平年の2割弱（前年の5割強）と低調でした。全体では平年の7割（前年の5割弱）と低調でした。

2017年12月の地域別漁獲量(上位5魚種)



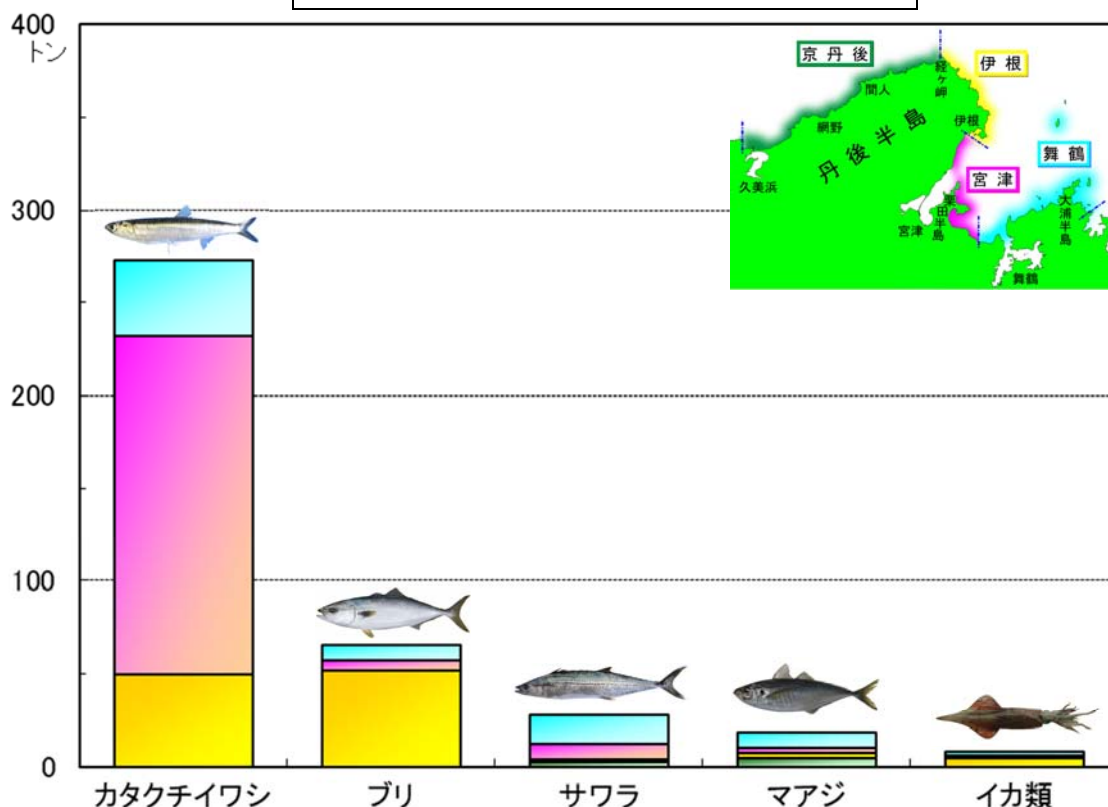
12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	249.5	695.7 (36%)	125.7 (198%)	<サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が4割弱, さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)が3割強, さわら大銘柄(3.0kg 以上)は3割弱, やなぎ銘柄(0.4kg 未満)はごくわずかでした。
サワラ	101.4	260.3 (39%)	196.2 (52%)	
カツオ類	79.3	27.6 (288%)	74.3 (107%)	
スズキ	32.7	26.2 (125%)	20.1 (162%)	
マアジ	28.7	48.5 (59%)	82.7 (35%)	
ブリ	25.4	50.0 (51%)	160.3 (16%)	<ブリ> ぶり銘柄が6割強, つばす銘柄が3割弱, まるご銘柄, はまち銘柄はごくわずかでした。
イカ類	17.7	21.7 (81%)	53.4 (33%)	
タイ類	13.1	29.0 (45%)	11.6 (113%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	12.2	24.9 (49%)	20.1 (61%)	
メジナ(つかや)	7.3	9.2 (79%)	10.6 (68%)	
その他	75.1	147.6 (51%)	168.1 (45%)	
合計	642.3	1340.5 (48%)	923.1 (70%)	

平年は過去10年平均

【1月】

カタクチイワシが平年の1.9倍（前年の9割弱）と好調でした。一方、サワラが平年の2割弱（前年の2割強），マアジが平年の3割（前年の3割強），イカ類が平年の3割弱（前年の4割弱）と低調でした。全体では平年の7割弱（前年の6割強）と低調でした。

2018年1月の地域別漁獲量(上位5魚種)



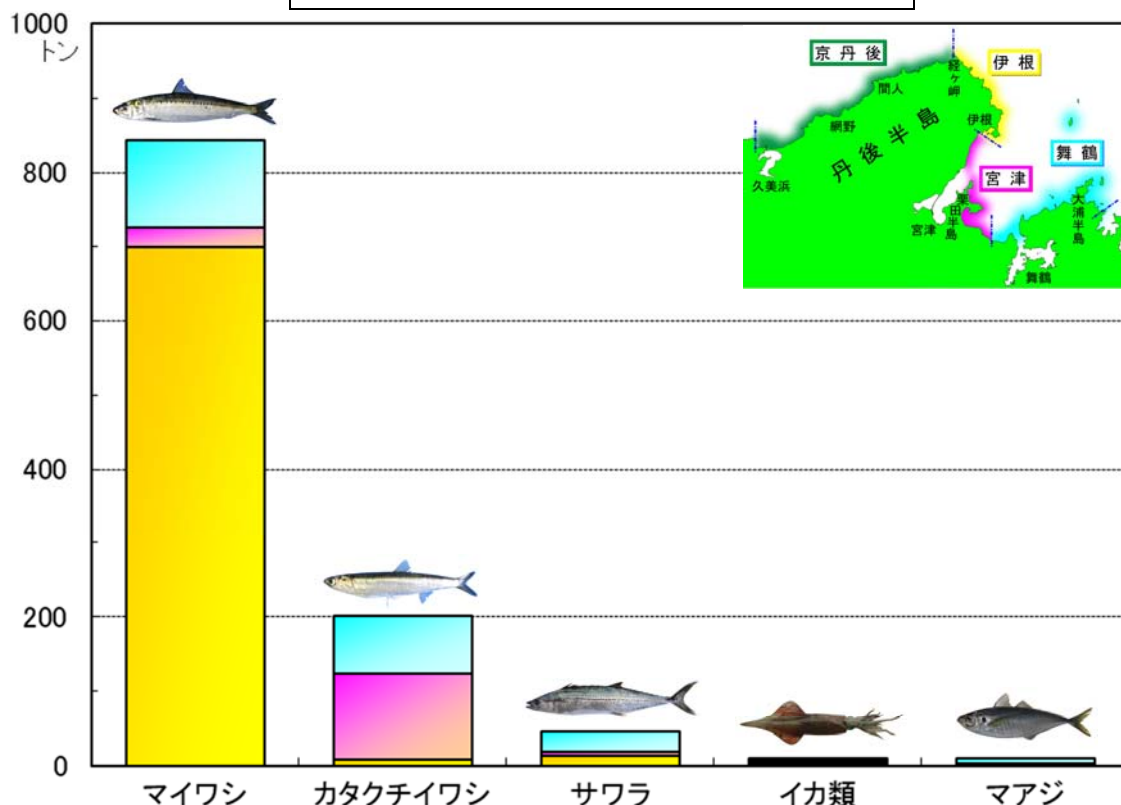
1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	272.4	315.4 (86%)	141.3 (193%)	<ブリ> つばす銘柄が8割弱, ぶり銘柄が2割弱, まるご銘柄, はまち銘柄はごくわずかでした。
ブリ	65.2	72.2 (90%)	107.8 (60%)	
サワラ	28.1	126.8 (22%)	153.7 (18%)	<サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が4割弱, さわら大銘柄(3.0 kg以上)は3割強, さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)が3割弱でした。
マアジ	18.5	60.3 (31%)	61.2 (30%)	
イカ類	8.4	23.7 (36%)	29.1 (29%)	<イカ類> ヤリイカ(冬いか)が5割強などでした。
ウマヅラハギ(長はぎ)	7.8	9.6 (82%)	22.4 (35%)	
スズキ	7.6	12.2 (62%)	9.5 (79%)	
タチウオ	3.8	0.7 (558%)	1.2 (304%)	
タイ類	3.6	9.1 (39%)	5.9 (60%)	
マグロ類	3.3	2.1 (158%)	17.1 (19%)	
その他	27.1	59.0 (46%)	125.2 (22%)	
合計	445.7	691.0 (64%)	674.6 (66%)	

平年は過去10年平均

【2月】

マイワシが843トン、カタクチイワシが201トン（平年の2.7倍、前年の1.2倍）と好調でした。一方、サワラが平年の8割弱（前年の9割）、イカ類が平年の5割強（前年の7割強）と低調でした。全体では平年の3倍（前年の3.6倍）と好調でした。

2018年2月の地域別漁獲量(上位5魚種)

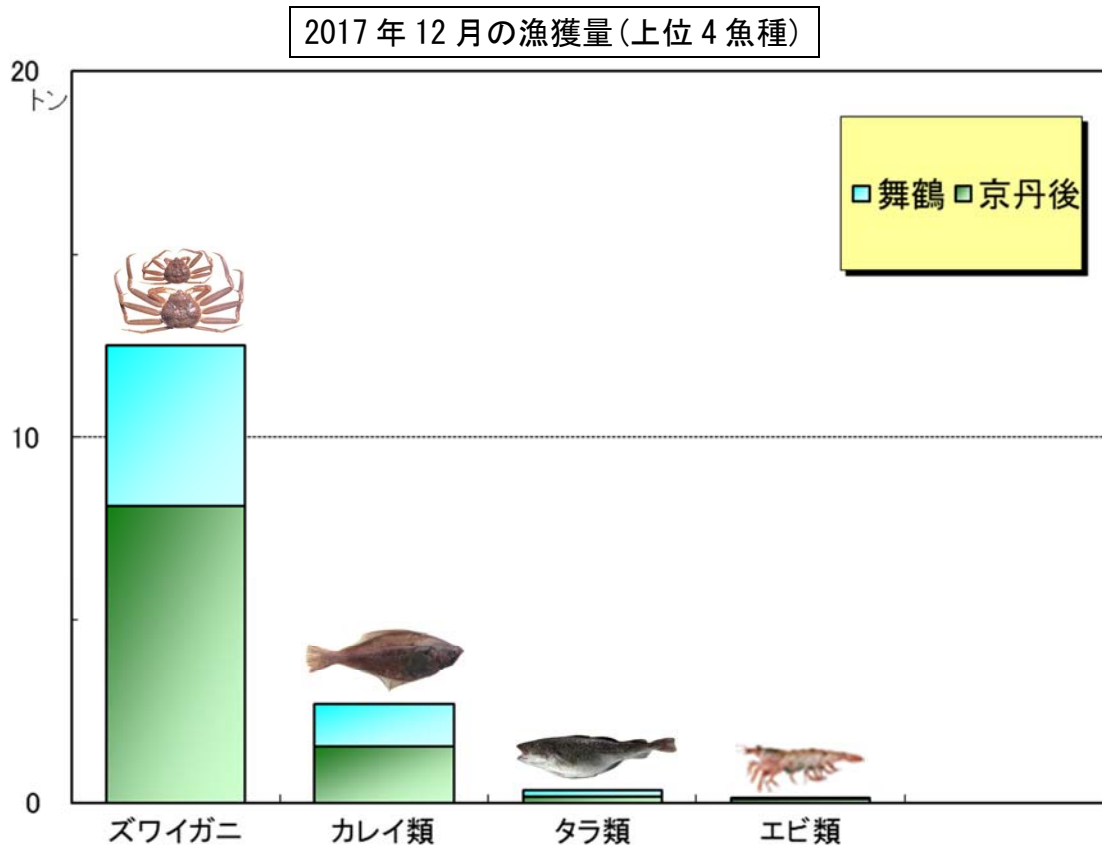


2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
マイワシ	843.2	0.0 -	0.5 -	<マイワシ> 16~23 cm台が主体でした。
カタクチイワシ(たれ)	201.1	168.5 (119%)	75.5 (266%)	
サワラ	46.7	52.1 (90%)	62.6 (75%)	<サワラ> さごし銘柄(0.4kg以上1.0kg未満)が4割強、さわら大銘柄(体重3.0kg以上)、さわら銘柄(1.0kg以上3.0kg未満)がそれぞれ3割弱でした。
イカ類	9.9	13.7 (72%)	19.6 (51%)	
マアジ	9.9	8.4 (117%)	46.9 (21%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	8.1	2.1 (388%)	6.1 (133%)	<イカ類> ヤリイカ(冬いか)が6割強などでした。
ブリ	5.7	1.2 (483%)	17.6 (32%)	
カナガシラ	4.2	6.3 (67%)	11.1 (38%)	
スズキ	4.0	9.4 (42%)	6.7 (59%)	
サバ類	3.1	0.1 (3572%)	78.5 (4%)	
その他	14.3	58.8 (24%)	56.1 (26%)	
合計	1150.1	320.5 (359%)	381.2 (302%)	

平年は過去10年平均

《底曳網漁業》【12月】

全体の水揚量は、平年の7割弱(前年の7割強)でした。

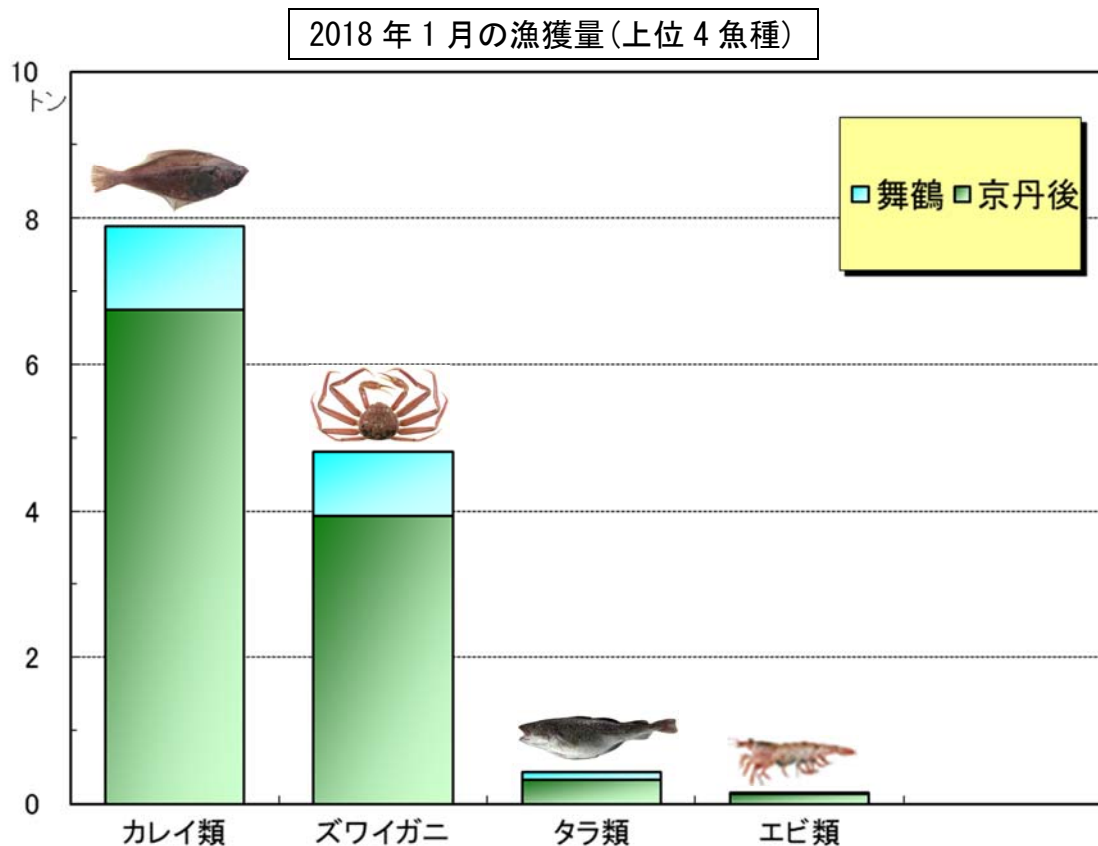


12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ズワイガニ	12.5	16.3 (77%)	17.4 (72%)	<ズワイガニ> 雄ガニ(間人がに・舞鶴かに)が5.7トン、雌ガニ(こっぺ)が6.8トンでした。
カレイ類	2.7	5.8 (46%)	6.6 (40%)	
タラ類	0.3	0.5 (72%)	0.3 (108%)	
エビ類	0.1	0.2 (84%)	0.1 (91%)	
その他	1.9	1.7 (112%)	2.0 (96%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)がほとんどでした。
合計	17.6	24.7 (71%)	26.8 (66%)	

平年は過去10年平均

【1月】

全体の水揚量は、平年の5割弱(前年並み)と低調でした。

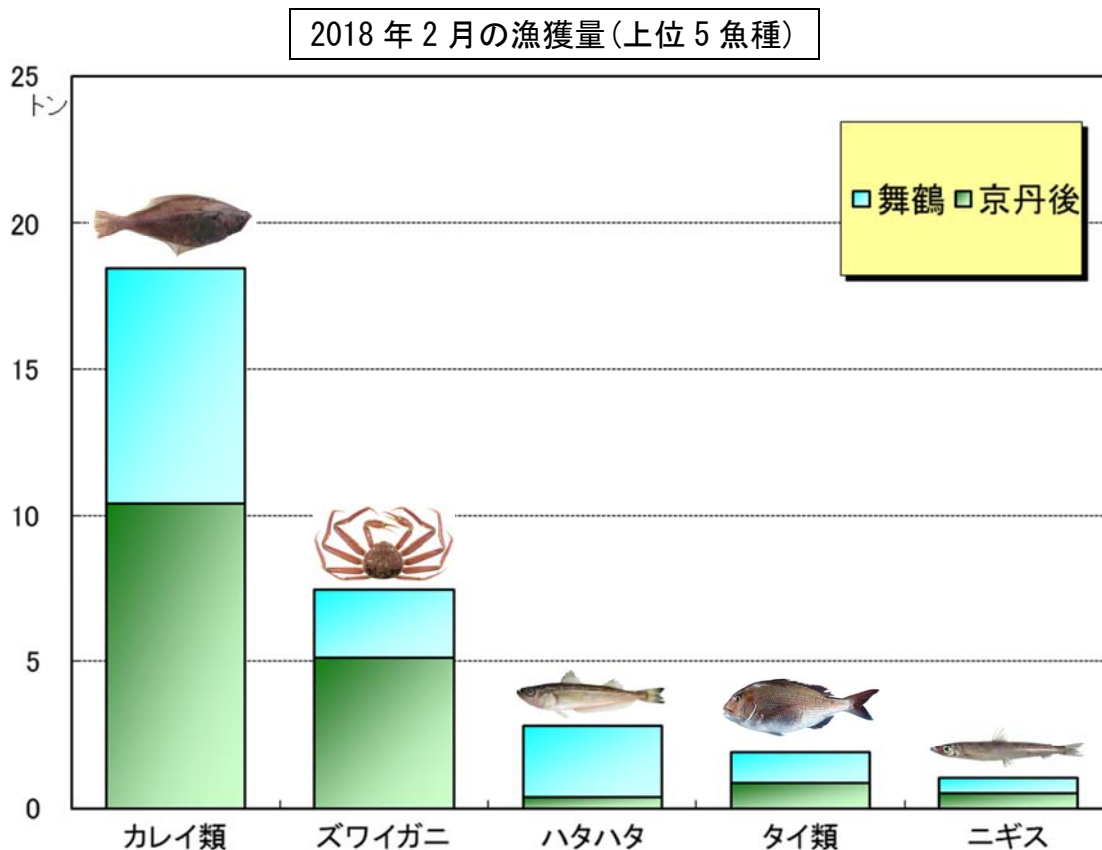


1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	7.9	7.7 (103%)	13.9 (57%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)がほとんど でした。
ズワイガニ	4.8	3.0 (162%)	6.0 (81%)	
タラ類	0.4	0.2 (186%)	0.6 (73%)	
エビ類	0.1	0.3 (49%)	0.6 (25%)	
その他	1.6	2.0 (78%)	4.0 (39%)	
合計	14.9	14.5 (103%)	30.5 (49%)	

平年は過去10年平均

【2月】

全体の水揚量は、平年の5割強(前年の1.7倍)でした。



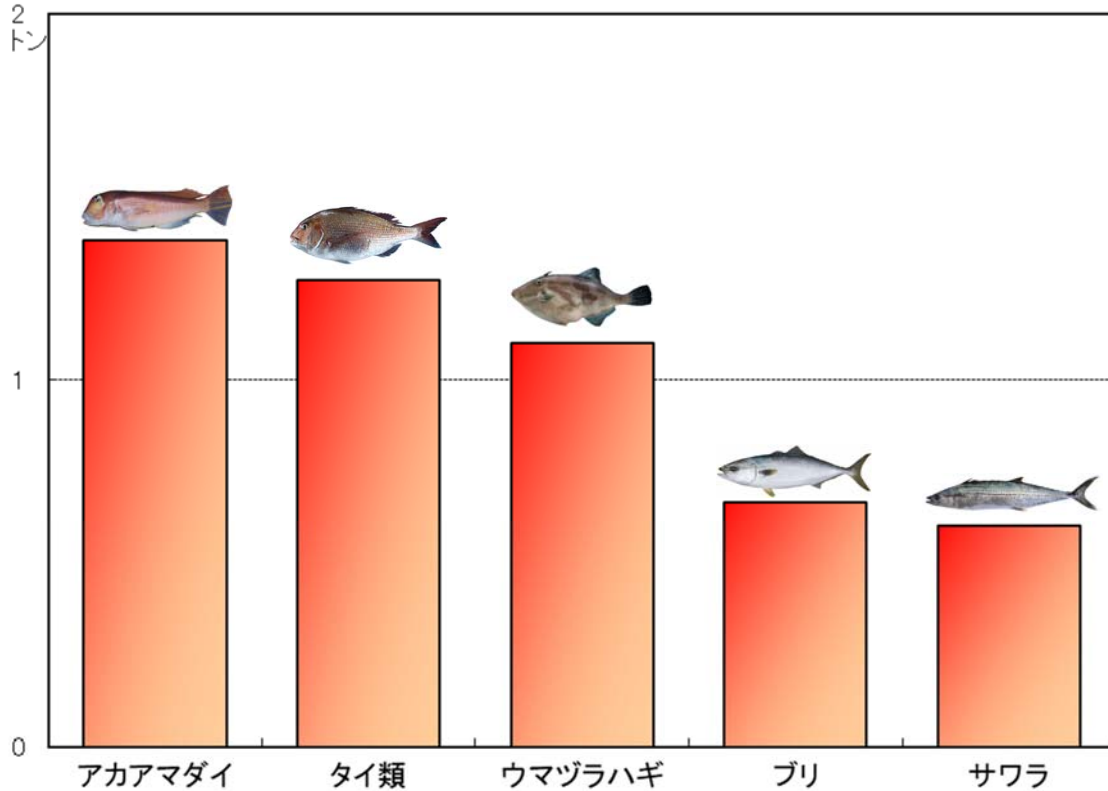
2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	18.5	11.8 (157%)	29.7 (62%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, クロガレイ(黒かれい)が1割強な などでした。
ズワイガニ	7.4	3.5 (212%)	5.4 (138%)	
ハタハタ	2.8	2.0 (142%)	23.4 (12%)	
タイ類	1.9	0.6 (324%)	1.0 (190%)	
ニギス(沖きす)	1.0	0.0 -	0.5 (209%)	
エビ類	0.5	0.4 (116%)	0.7 (73%)	
タラ類	0.2	0.1 (230%)	0.2 (98%)	
スズキ	0.2	0.1 (154%)	0.3 (65%)	
タコ類	0.1	0.2 (76%)	0.7 (23%)	
ヒラメ	0.1	0.0 -	0.2 (66%)	
その他	1.5	2.0 (75%)	4.4 (35%)	
合計	34.4	20.8 (166%)	66.5 (52%)	

平年は過去10年平均

《釣り・はえなわ漁業》【12月】

全体の水揚量は、平年の4割弱（前年の6割弱）と低調でした。

2017年12月の漁獲量(上位5魚種)



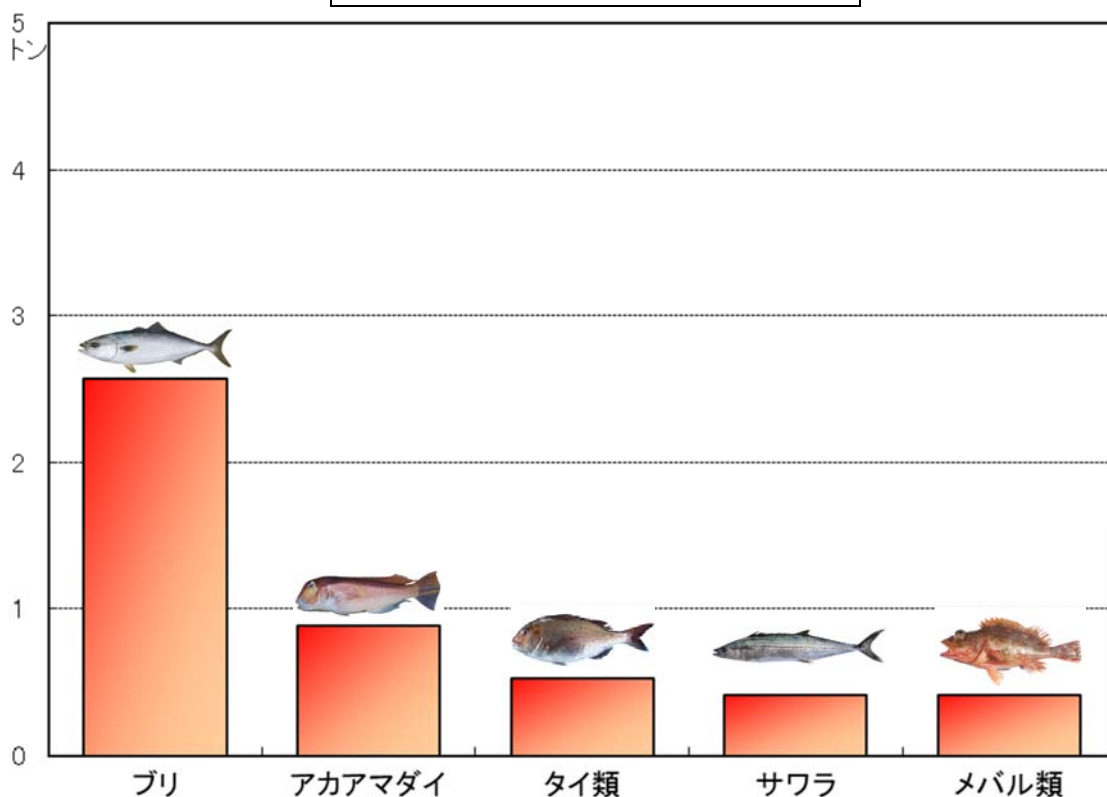
12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
アカアマダイ(ぐじ)	1.4	2.5 (55%)	2.6 (54%)	<タイ類> マダイが6割強, キダイ(れんこ鯛)が4割弱などでした。
タイ類	1.3	2.6 (50%)	2.2 (59%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	1.1	0.5 (218%)	0.9 (118%)	
ブリ	0.7	2.1 (31%)	4.2 (16%)	
サワラ	0.6	0.7 (89%)	2.3 (26%)	
スズキ	0.4	0.1 (397%)	0.2 (246%)	
イカ類	0.4	1.1 (34%)	4.0 (9%)	
メバル類	0.3	0.7 (53%)	0.4 (86%)	
メダイ	0.1	0.3 (51%)	0.3 (48%)	
ヒラマサ	0.1	0.1 (92%)	0.1 (172%)	
その他	0.4	1.0 (39%)	1.9 (21%)	
合計	6.8	11.7 (58%)	18.9 (36%)	

平年は過去10年平均

【1月】

全体の水揚量は、平年の4割弱（前年の7割弱）と低調でした。

2018年1月の漁獲量(上位5魚種)



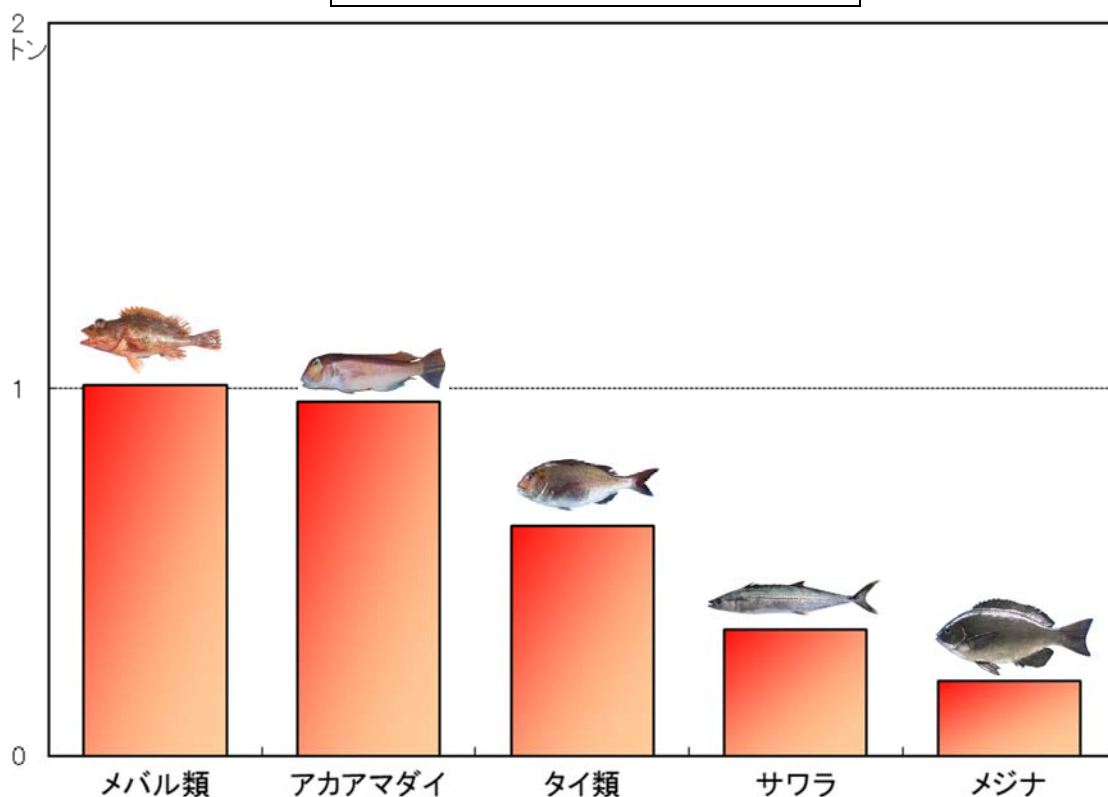
1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	2.6	2.9 (90%)	5.2 (50%)	<ブリ> つばす銘柄がほとんどでした。
アカアマダイ(ぐじ)	0.9	0.7 (118%)	1.1 (82%)	
タイ類	0.5	0.8 (64%)	0.8 (62%)	
サワラ	0.4	0.8 (55%)	4.0 (10%)	
メバル類	0.4	0.5 (77%)	0.4 (98%)	
イカ類	0.3	2.4 (13%)	1.2 (25%)	
カレイ類	0.3	0.2 (135%)	0.1 (265%)	
その他	0.3	0.3 (98%)	1.2 (26%)	
合計	5.7	8.8 (65%)	14.7 (39%)	

平年は過去10年平均

【2月】

全体の水揚量は、平年の3割強（前年の4割強）と低調でした。

2018年2月の漁獲量(上位5魚種)



2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
メバル類	1.0	0.8 (124%)	0.7 (137%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.0	0.8 (125%)	1.0 (99%)	
タイ類	0.6	0.8 (76%)	0.8 (77%)	
サワラ	0.3	1.0 (33%)	2.9 (12%)	
メジナ(つかや)	0.2	0.1 (138%)	0.1 (330%)	
カレイ類	0.1	0.2 (87%)	0.1 (111%)	
スズキ	0.1	0.1 (130%)	0.1 (150%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	0.1 (89%)	0.1 (115%)	
その他	0.5	4.7 (11%)	5.9 (9%)	
合計	4.0	9.0 (44%)	12.7 (31%)	

平年は過去10年平均